

國學院大學學術情報リポジトリ

ハワイ日系人社会における日本文化継承： 日米開戦前の日本語学校にみる教育活動

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-05-22 キーワード (Ja): 日本文化継承, ハワイ日本語学校, 布哇教育会, 米化, 課外活動 キーワード (En): 作成者: 彌島, 真帆 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001663

論 文 要 旨

学籍番号	233316	氏 名	彌島 眞帆
論文題目： ハワイ日系人社会における日本文化継承 ―日米開戦前の日本語学校にみる教育活動―			
(内容の要旨)			
<p>本論文の目的は、日米開戦に至るまでのハワイ日系人社会における日本文化継承の一端を、日本語学校における教育の検討により明らかにすることである。</p> <p>従来の研究では、布哇教育会の動向を以てハワイの日本語学校を一様に捉えており、各日本語学校の独自の教育選択過程や日本文化の積極的な継承様相が考慮されてきたとは言い難い。そこで本論文では、個別の学校に焦点を当て、カリキュラムや教科書、課外活動といった教育実態から日本文化の可視化を試み考察した。</p> <p>第一章では、独自の教育事業を展開したハワイ本願寺の開教師今村恵猛を取り上げ、彼の教育観及び米化観を検討した。今村は、日本語学校の教育を布教の一環として捉えており、その教育観は、日本のナショナリティと米化を併存させる、ホスト社会での相対的同化を目指したものであった。表面的には布哇教育会と足並みを揃え、米化に向けた教育を掲げつつも、実際の教育事業においてはそうした彼の真の教育観が反映していたとみられる。</p> <p>第二章では、布哇中学校と布哇中央学院の二つの個別事例を用い、カリキュラムや教科書を取り上げて、布哇教育会の方針との比較検討を行った。布哇教育会の米化方針の下でも、各日本語学校は、日本文化を肯定的に捉え、多様な日本的カリキュラムの実施によって日本文化継承を試みていた。特に 1930 年以降は修身科や日本歴史・地理を採用し日本文化再興期を迎えていた。また、日本的徳目のうち反米的でないものの継承は、二世を優秀なアメリカ市民に育成するためにも有効的と捉えられ、日米戦直前まで教材として扱われ続けていた。</p> <p>第三章では、布哇中学校の日本文化に関連する課外活動に注目した。弁論部や武道部などの課外活動は、学校教育課程とは異なり、ホスト社会から目の届かない領域において、日本文化継承や教化活動といった教育理想を実践できる、極めて重要な教育媒体であった。</p> <p>以上の各学校の教育内容の検討から、布哇教育会の動向のみでは把握できない、日本文化の継承実態が解明された。日本語学校の果たした役割は、語学継承に留まらなかった。多様な科目や修身科による徳育、課外活動による武道練習などは日本文化の言語、思想、伝統武道の継承に非常に役立った。また、ハワイ日系人がアメリカ社会に反さないよう教科書やカリキュラムを変容させたその過程は、日本文化から日系人文化が形成されたプロセスそのものであったといえる。</p>			
キーワード (5 語)			
日本文化継承, ハワイ日本語学校, 布哇教育会, 米化, 排日運動, 教科書分析, 課外活動			